

平成30年度 理 科 シラバス (高等学校)

教科名	科目名	単位数	年・組
理 科	生物研究	2	3年7組・9組

使用教科書	副教材
数研出版 生物基礎 第一学習社 高等学校 生物	第一学習社 スクエア最新図説生物 neo 旺文社 入門問題精講

1. 学習の目標

生物基礎の内容を総復習し、基礎学力到達度テストやセンター試験、一般入試への実力を養成する。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
生物や、生命現象に関心や探求心を持ち、主体的に探求すると主に、科学的態度を身につけている。	生物や生命現象を実証的・論理的に考え、科学的な判断をする。	生物や生命現象に関する観察・実験の後術を身につけ、結果から導き出した考えを的確に表現することができる。	生物や生命現象について基本的な概念や原理法則に付いての理解を深め、知識を身につけている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	「生物基礎」 第1章 細胞と個体	各単元について復習を行う。 1 細胞の構造と働き 2 生体膜の構造と働き 3 体細胞分裂 4 生物体の構造について演習問題を行う。	定期試験（中間・期末） 授業態度・ノート・宿題をもとに総合的に評価する。
		第2章 代謝	5 酵素 6 異化と同化について演習問題を行う	
	5	第3章 遺伝情報とその発現	7 遺伝子の本体と働き 8 遺伝子の発現について演習問題を行う。	
		(中間試験)		
		第4章 生殖と発生	9 生殖法・減数分裂 10 配偶子形成と受精 11 発生のしくみについて演習問題を行う。	
6	第5章 遺伝	12 遺伝 13 遺伝子と染色体 14 いろいろな遺伝について演習問題を行う。		
	第6章 体内環境の維持	15 体液 16 免疫 17 腎臓と肝臓 18 自律神経系とホルモンについて演習問題を行う。		
2	9	第9章 生態と環境	24 個体群 25 バイオームと生態系 26 生態系とその平衡について演習問題を行う。	定期試験（中間・期末） 授業態度・ノート・宿題をもとに総合的に評価する。
		第7章 動物の反応と調節	19 神経系 20 受容器 21 効果器 22 動物の行動について演習問題を行う。	
	10	第8章 植物の反応と調節	23 植物ホルモンについて演習を行う。	
第10章 生物の進化と系統		27 生物の進化 28 生物の系統と分類について演習を行う。		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。